国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

つなごう肱川
～上流から下流まで・未来へ・子どもたち～

国土交通省　大洲市　西予市　内子町

令和７年３月３１日
大洲河川国道事務所
大洲市
西予市
内子町

全国初！肱川流域でデジタル水防の試行開始

団員一人ひとりにワンタッチ情報提供

～水防活動に従事されている水防団員と一緒に開発しました～

近年、気候変動の影響で豪雨が激甚化・頻発化しており、水害から地域を守る水防活動の重要性が高まっています。悪天候のもとで水防活動を迅速に実施するためには、気象情報や河川情報、避難情報などの各種情報を水防団員同士で効率的に伝達・共有することが有効です。

このため、一般財団法人河川情報センターの協力のもと、大洲市・西予市・内子町の各水防団と大洲河川国道事務所が連携し、水防活動時の効率的な情報伝達・共有を支援するツール「デジタル水防」を開発しました。デジタル水防は、現場で活躍される水防団員が求める各種情報をワンタッチで提供するとともに、水防団員同士の効率的な情報伝達・共有と安全管理を可能とするものであり、全国に先駆けて、肱川流域の水防団による実証実験（試行）を行います。

※本施策は、四国圏広域地方計画「No.１ 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

≪問い合わせ先≫

【国】デジタル水防（全般）に関する問合せ
国土交通省大洲河川国道事務所（TEL:0893-24-5185）
◎副所長　髙島　愛典（タカシマ　ヤスノリ）　（内 204）
事業対策官　新川　和之（シンカワ　カズユキ）　（内 208）
【市・町】デジタル水防の活用に関する問合せ
（大洲市水防団）大洲市総務部（TEL:0893-24-2111）
危機管理課長　矢野　晃（ヤノ　アキラ）
◎専門員兼係長　川口　裕二（カワグチ　ユウジ）
（西予市水防団）西予市消防本部（TEL:0894-62-4700）
消防総務課長　山本　清久（ヤマモト　キヨヒサ）
◎消防団係長　土居　弘樹（ドイ　ヒロキ）
（内子町水防団）内子町総務課（TEL:0893-44-2111）
総務課長　黒澤　賢治（クロサワ　ケンジ）
◎危機管理班長　宮田　哲郎（ミヤタ　テツロウ）
◎：主な問い合わせ先

デジタル水防の導入により期待できる効果

水防活動時の情報共有に関する主な問題・懸念点

- 参集・活動時の情報伝達手段に電話・無線を用いている団が多く、**各種の情報共有に苦慮**されている。
- 水防活動に役立つ情報は、気象情報や洪水に関する情報、避難に関する情報など多岐に渡るが、それらの**情報を取得するためのウェブサイトが多すぎてわかりにくく、地域の情報を閲覧するのに手間**がかかる。
- 電話や無線などの**音声だけでは現場状況が伝わらない。**
- 現場にいる**団員の正確な居場所が分からない。**

水防活動の初動の遅れに繋がる

デジタル水防（仮称）導入により期待できる効果

① 水防活動に必要な情報の一斉共有
リッチメニューを活用することで、各種情報の共有を団員全員で可能

② 洪水時に役立つ情報がワンタッチで取得可能
地域の河川水位や河川ライブカメラ情報、気象情報、避難情報をワンプッシュで取得

③ 現場の災害状況の画像や動画をその場で地図上に登録
音声による情報共有や位置情報が不明な写真による現場情報のやりとりを地図上で団員同志で共有

④ 団員の居場所やコメントを地図上で共有
団員がどこに今いるのかを地図上で共有することで、効率的な水防活動の実施と団員の安否確認が可能

水防活動の初動の迅速化と的確な情報共有に期待

デジタル水防（仮称）のイメージ画面

地域に特化した洪水時に役立つ情報がワンタッチで取得可能

地図上で現場状況を共有可能